

あの日から1年

新年度になり2週間が経ちましたが皆さま、いかがお過ごしでしょうか。そして、あの大地震「平成28年熊本地震」から4月14日で1年を迎えることとなり、新年度の挨拶と交えながら、あの日熊本で何が起こったのかを皆さまにお教えすることといたします。

2016年4月14日（木）午後9時26分ごろ、上益城郡益城町（熊本地方）を震央とした最大震度7でマグニチュード6.5を観測する大地震が発生しました。いきなりの大揺れで、戸惑いを隠せなかった。これが前震であることは、まだ誰も知らない。そして、現在SNSが発達し、Twitterではデマ情報が拡散し、多くの人々が困惑した。その内容は「動植物園からライオンが脱走した」や「ショッピングモールで火災」などといったもので、よくよく考えてみると、ライオンなど熊本市動植物園で飼育していないことが後から判明した。そして、この前震で多くの家屋が倒壊し、多数の死傷者を出すなどした。

そして、2016年4月16日（土）午前1時25分ごろ、上益城郡益城町・阿蘇郡西原村（熊本地方）を震央とした最大震度7でマグニチュード7.3を観測する大地震が再度発生しました。まさに、前震から続く余震で怯えていて「次いつ来るんだろう」と皆が思っていたその時でした。この地震によりさらなる犠牲者や負傷者を出すこととなりました。そして、阿蘇（カルデラ）の入口でもある南阿蘇村の立野に架かる「阿蘇大橋」は、跡形もなく崩落してしまっていました。また、その際起こった土砂崩れにより国道57号線は寸断され、熊本と大分を結ぶ幹線道路が一瞬にしてなくなってしまいました。

この2度に渡って最大震度7を観測するとは、想定外だったと聞いております。熊本県内のみならず九州地方で甚大な被害をもたらす大変な出来事でありました。

この熊本地震を教訓に、私たちはこれから災害に対する防災意識を高めていく必要がありますし、この地震を知らない後世にも伝えていくことも重要であると私は考えます。6年前に起こった東日本大震災も同じだと思います。まさに、72年前に終結した太平洋戦争も私もそうですが、知らない世代が大半を占め、先の大戦を後世に伝えている語り部の方々と同じように東日本大震災や熊本地震を伝えなければなりません。

1995年に起こった阪神淡路大震災で課題として出た教訓をこの度の地震で生かせるのだろうかとは私は疑問に思ったところです。

私はこの「平成28年熊本地震」で学んだことを一生涯忘れずに生きていきたいと思えます。

平成29年4月14日

極ラーメン宙 運用管理者